

第43回放送番組審議会 議事録

日 時 2016年5月12日(木)

場 所 株式会社ケーブルネット鈴鹿 新館 会議室

出席者 放送番組審議会委員

副会長 高木 純一氏

委 員 玉川登美男氏・南部美智代氏・加藤二三子氏・市野聖治氏・西山哲也氏・中澤明氏

放送事業者側

秋月修二・伊藤秀明・大野宏幸・美馬孝宣・萩野尚美

■報告事項

1. 株式会社ケーブルネット鈴鹿の近況

テレビ、インターネット、電話、3サービス共に加入者数純増

チャンネルガイドの日割り表示をチャンネル別表示に変更

4月1日よりインターネットサービスに、新サービスあんしん自転車プランを開始。

2. 前回の審議会の要望事項に対する回答

・Newsキャスターをはじめ、多くの番組で出演者や制作者を変更し、番組のイメージチェンジや内容の充実を図った。

3. 2015年度下半期 放送番組実績報告

・新名神高速道路の工事の様子を定期的に取り上げ放送している。また、国土交通省にも記録ビデオとして納品している。(新名神レポート2015～鈴鹿・亀山の工事進捗～)

・県内外のCATV局とつながりを持って番組作りを行った。(歌王みえは県内CATV局とNHK津の共同制作)

4. 2016年上半期の取り組み

・12chは「北勢地域の情報」11chは「定点カメラの映像と他地域の番組」と放送番組の棲み分けを図った。

■ 審議

視聴番組

- ケーブルNews 3月16日号 (2016年3月放送)
- 放送セミナー 軍都から緑の工都へ (2016年2月放送)
- おはなしきかせて (2016年2月放送)
- ケーブルNews 4月1日号 (2016年4月放送)

ご意見・ご感想

- ・話し方がゆっくり。民放のテンポで慣れているので、違和感を感じる。
- ・インタビューを多用しすぎ。大事なコメントだけインタビューを使い、あとは、アナウンサーが意見を付けてまとめてほしい。
- ・テロップで内容の補足をしてほしい。特に、お年寄りや子供のインタビューは、内容を正確に届けるために、テロップ必要。
- ・スポーツや音楽をする若者の姿は取り上げているが、他のジャンルに取り組む若者の姿がない。スポーツ音楽以外でも活躍している若者取材して欲しい。
- ・30分番組や1時間番組は、休憩無しで視聴するのはつらい。10～15分でCMがないと集中力が途切れる。
- ・鈴鹿の歴史や伝承文化を後生に伝えることは大切。今後も続けてほしい。

以上